

第1回臨床薬理試験研究会プログラム

1999年6月12日 於京王プラザホテル

一般演題 9:00～12:00 (47Fあけぼの)

セッション I 9:00～10:40 座長 中島 創 (大分医大臨床薬理)

1. 飯島 肇 健康人におけるクレアチニン・クリアランスの予測生
2. 有田悦子 臨床第 I 相試験におけるプラセボ投与者の自覚症状発現に関する検討
3. 小川勝利 健康成人を対象とした臨床薬理試験における、副腎皮質機能検査 (Rapid ACTH Test) 評価基準の検討
4. 内田英二 眼球運動解析によるベンゾジアゼピン系薬物の鎮静作用の評価:性差及び人種差の検討
5. 小菅和仁 トリアゾラムとジルチアゼムの相互作用:PK/Pモデルの解析

セッション II 10:40～12:00 座長 長嶋 悟 (志都呂クリニック)

1. 熊谷雄治 医学生における臨床試験に関する意識-臨床薬理学教育の影響-
2. 田中孝典 同意取得に関する諸問題
3. 伊藤一弥 クロスオーバー試験における統計解析上の疑問点
4. 入江 伸 新GCP施行後のモニタリング、SDV、監査の状況 (Phase I 実施施設から)

総 会 13:15～13:30

特別講演 13:30～14:30 座長 大橋京一 (浜松医大臨床薬理)

1. 13:30～14:00
Stephen D Wise (Lilly-NUS Center for Clinical Pharmacology Pte Ltd)
「Clinical Pharmacology Studies for Ethnic Difference」
2. 14:00～14:30
Jonathan L Palmer (Glaxo Wellcom)
「Implementation of ICH E5 in Glaxo Wellcom」

シンポジウム 14:30～17:00 座長 伊藤忠夫 (大阪臨床薬理研究所)

「ブリッジング試験への取り組み」

- 東 純一 (大阪大学)
内田英二 (昭和大学医学部第二薬理)
浦江明憲 (相生会 臨床薬理センター)
安原 一 (昭和大学医学部第二薬理)

懇 親 会 17:30～19:30 (4F 錦)